# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 株式会社　静岡博報堂 |
| テーマ名 | 静岡茶を元気にしよう！ |
| 授業目標 | **大テーマは、静岡茶の復権！**<br>街中のお茶屋さんや県内のお茶メーカーを得意先として想定し具体的な施策を提案。<br>フィードバックを受けて、さらにブラッシュアップすることでアイデアの実現を目指す。 |
| 学生へ<br>期待する変化 | ・今まであまり気にしていなかった「静岡茶」の価値に改めて向き合う。<br>・オリンピックを前にお茶（静岡茶）を静岡の観光資源として意識づけ、<br>若い世代を取り込むためのアイデアを自分ごととして考える。<br>・授業を通して、**考えるクセ**、**考える術**、**伝える力**を身に付けながら、それぞれの「**地元愛**」につなげる。 |
| 授業概要 | ★講義を交えながらチームでのワークショップ形式の授業をメインに。<br>学生の年齢に近い社員がチームに加わることで、スムースな進行を目指す。<br><br>**〇現状分析＋静岡茶の強みの洗い出し**<br>他の地域のお茶や、他の飲料、県内のお土産物全般など、あらゆる競合視点から静岡茶が抱える課題や独自の強みを考える。<br>座学だけでなく、店舗や工場への現場取材など、フィールドワークも取り入れる。<br>**〇広告会社（博報堂グループ）ならではのプランニングにふれる**<br>課題を解決するための、新しいアイデアを考え、協力企業へプレゼンテーション。<br>その過程の中で、発想の仕方、企画書の作り方、プレゼンテーションの仕方などを学ぶ。<br>アイデアは、商品、サービス、イベント、売り方等、ジャンル問わず自由に発想する。<br>**〇協力企業とアイデアの実施**<br>話題になるプロモーションを企画し、実施する。<br>（竹茗堂、小川園、ななや、街中の店舗などを想定）<br>**〇最終発表**<br>結果もふまえながら、考察や今後の展望など、他のチームと知見が共有できるような発表を目指す。 |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | 調整中 | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 課題オリエン、<br>プランニング入門 | チーム目標の共有＋<br>プランニング基礎知識の習得 | お茶の事例を調べる | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 課題の共有・事例紹介 | インプット力の向上 | 家族・友人へヒアリング | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 静岡中心市街地 | 店舗視察＆店員からヒアリング | ネットにはない、<br>リアル情報の収集 | 静岡茶の課題強みの分析 | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | クリエイターによる講義<br>アイデア出しWS | 発想力の向上 | アイデア10案 | |
| 7 | 11/20<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | アイデア共有＋整理 | 発想力＋<br>情報整理力をつける | 中間発表準備 | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | アイデア作成 | 企画力の向上 | 企画実現準備 | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 企画実現準備 | 段取り力をつける | 実施準備 | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 協力企業 | 実施 | 仲間と協力し、アイデアを形にする | 振り返り＋<br>お礼 | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 静大共通<br>L204・305 | 実施の振り返り | 考察力をつける | プレゼン準備 | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | プレゼン準備 | 企画書作成力の向上 | プレゼン準備 | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | プレゼン準備 | 企画書作成力の向上 | プレゼン準備 | |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、<br>自分自身の成長を<br>実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 株式会社　大丸松坂屋百貨店<br>松坂屋　静岡店 |
| テーマ名 | 次世代の百貨店ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ戦略を考えよう |
| 授業目標 | ※15回を終えるときにどんなアプトプットを目指すか？<br><br>静岡店長へ提案書として、ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行い、その内容を来年度の戦略ﾌﾟﾗﾝに取り入れる |
| 学生へ<br>期待する変化 | ・問題点→解決のﾌﾟﾛｾｽの思考を実践の場で体験し、身につけることができる<br>・静岡市中心市街地（特にJR静岡駅周辺）の街づくりにおけるﾘｱﾙ店舗の重要さについて理解を深めてもらう |
| 授業概要 | 当社の社員と学生でﾁｰﾑをつくり、学生と社員が学びあうﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ型の授業をする。<br>ﾃｰﾏのｱｳﾄﾌﾟｯﾄを明確にしたいことから、「次世代の百貨店ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ戦略を考えよう」というﾃｰﾏの「次世代」については「5年後」を目安に考えることとし、「ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ戦略」については、「お客様とのｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを太く、円滑にする新しい手段を戦略として考える」ということにする。<br><br>授業は、大きく分けて、中間報告会前後で､前半と後半の2つに分類する。<br>前半は、現状における当社のﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの説明とのﾋｱﾘﾝｸﾞ調査をおこなうことにより、現状への理解を深めてもらう。<br>後半は、百貨店の抱える課題と前半での現状の反省受けて、5年後の世界の変化を見据えつつ、街づくりのための賑わい創出の第一歩であるべきﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ戦略の仮説の設定とその実証をおこなう。<br>14回目の授業でそれらの結果を静岡店長へﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝする。それを受けて最終修正したものを、来年度の当店の戦略へ取り入れる。<br>基本的に、社員2～3名が指導にあたる。 |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | － | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 現状理解講義<br>要点をみんなで整理 | 百貨店、ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの現状を理解する | 調査票に取り入れるﾎﾟｲﾝﾄを3点用意する | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 調査準備 | 調査票作成 | 5年後の世界を定量的定性的に整理する | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 松坂屋静岡店 | 松坂屋静岡店のﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ状況をﾋｱﾘﾝｸﾞ調査／店頭観察 | 現状ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの課題を理解する | 自分なりにﾋｱﾘﾝｸﾞ結果をまとめる | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ﾋｱﾘﾝｸﾞ結果のまとめ<br>まとめ方の講義 | 効果的なまとめ方の要点、手法を理解する | 発表資料作成（骨子のみ） | |
| 7 | 11/20<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間発表準備／新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法検討 | 百貨店の課題→解決手法の検討 | 発表準備 | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | 中間発表振り返りまとめる | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告振り返り／新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法検討 | 中間報告を受けて、新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法を考える | ﾘｱﾙとﾊﾞｰﾁｬﾙ店舗の違いをまとめる | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法実施準備 | 社会人と連携して、新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝの準備をする | 検証すべきﾎﾟｲﾝﾄをまとめる | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法実施 | 実際の店内ｲﾍﾞﾝﾄと連動させた手法の実施 | | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 静大共通<br>L204・305 | 新ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ手法検証 | 自分たちの仮説したことが実施された実感を得る | | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ﾌﾟﾚｾﾞﾝ準備 | 社会人からのﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸを受け、改善する要点が分かる | ﾌﾟﾚｾﾞﾝ準備 | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 松坂屋静岡店会議室 | 店長へのﾌﾟﾚｾﾞﾝ／ﾌﾟﾚｾﾞﾝ修正＋報告会準備 | 社会人からのﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸを受け、改善する要点が分かる | 最終報告会準備 | |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 静岡新聞社・静岡放送 |
| テーマ名 | 地域メディアが展開するフェスやスポーツイベントを通して、地域の課題と向き合おう |
| 授業目標 | ※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？<br><br>当社幹部に対してプレゼンテーションを行い、最終的には静岡市への提言として盛り込む |
| 学生へ<br>期待する変化 | ※15回を終えるときにどう変化してもらいたいか？<br>①地域に目を向けること<br>②地域の課題に関心を持つこと<br>③課題解決の主体者としての視点を持つこと<br>④そのうえで、自分の生かし方を考えること |
| 授業概要 | ※どんな授業内容か？<br>地域の課題解決をめざして、地域のメディアである当社が実施、計画、検討しているいくつかの事業、イベントを検証しながら、静岡市が抱える具体的な課題について、解決策を社員と学生が一緒になってまとめ提言する。テーマごとに社内のキーパーソンを講師とするが、随時、宮崎がフォローする。<br><br><前半>現状理解・課題確認<br>①地域の課題とメディアの事業について、その関わりと現状を理解する<br>②既存の事業について、評価、検証する<br><中盤>静岡市への提案に向けて<br>①問題を発見し、構造を理解する<br>②課題を確認し、必要な調査を実施する<br><終盤>静岡市への提言とりまとめ<br>①課題設定する(絞り込む)<br>②解決の方向性を決定しメディアの役回りに落とし込む<br>③解決策を立案し、プレゼン資料を制作する<br>④社内プレゼン、フィードバックを経て静岡市に提案する |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | 他 | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 静大 | 地域の課題とメディアの役割 | 公共団体ではないメディアが地域課題に挑む理由を理解する | 人口減について、目に見える変化をまとめる | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 静大 | 既存事業(就職支援事業)の振り返りと評価 | 事業を通じて地域の何を解決しようとしているかを理解する | 他府県政令市出身の友達に静岡市の良さを聞く | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 当社会議室 | 実績からみた静岡市に対する課題例提示 | 実績から、切り口知る | 平成の大合併の目的を図書館で調べる | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 静岡中心市街地 | 現地に赴き、問題を発見する | 地域資源を知る。停滞、埋没の現実に触れる | はやりの店を訪ね、繁盛のポイントをまとめる | 授業日以外の日程の可能性あり |
| 7 | 11/20<br>(月) | 静岡中心市街地 | 課題を確認し、必要な調査を実施する | 問題から課題を発見する手法を学ぶ | 課題をレポートにまとめる | 授業日以外の日程の可能性あり |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 静大 | 課題を絞り込み、行政、他者との連動を議論する | グループワークを通じて課題を明確にする手法を学ぶ | 大学の持つ資源を検討する | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 当社会議室 | メディアの役回りに落とし込む | 連動、共同の仕組みを学ぶ | 発表に向けて自分の役割を整理する | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 静大 | 解決策を立案し、制作する | 提案の手法を学ぶ | プレゼン準備 | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 当社会議室 | プレゼンテーション | 他者の評価を知る | 自己修正 | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 静大 | フィードバックと修正 | ブラッシュアップの要点が分かる | 提言準備 | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 当社会議室 | 最終提言 | 自分たちの提言が市政に届く醍醐味を知る | 報告会準備 | 授業日以外の日程の可能性あり |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 株式会社クレディセゾン |
| テーマ名 | 「お買い物」で街を活性化させよう |

| | |
|---|---|
| 授業目標 | ※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？<br><br>おまちのクレジットカードの現状を調査し、外国人を含めた交流人口の増加につながる提案を行う |
| 学生へ<br>期待する変化 | ※15回を終えるときにどう変化してもらいたいか？<br><br>・クレジットカードの仕組みや効果を理解し、調査を通じておまちの商店街の魅力を発見してもらう。<br>・また提案を考える中で、様々な課題解決方法があることを経験してもう<br>・プレゼンについての経験や他人への伝え方等コミュニケーション力を深めてもらう |
| 授業概要 | ※どんな授業内容か？<br><br>・経験豊富な社員3名と若手社員1名の計4名と学生でチームを組み、一緒におまちの活性化を考える参加型プロジェクトを行う。<br>・前半部分では、クレジットカードの業界動向、日本や海外の状況、静岡の状況や課題を深堀し、さらに実際にまちを調査し、課題の整理をしていく。<br>・中間部分は、整理した課題をもとに、学生たちがテーマを決めて、どういった提案をしていくかのアイデア出しをし、プランや提案内容を確定していく。<br>・後半部分は、確定させた提案内容をもとに、パイロット版の提案を実施し、その結果をもとにブラッシュアップを行い、最終的な提案内容へと確立をさせていく。<br>・基本的には、2名の中心社員が授業を行うが、スケジュールの関係により他2名の社員が同席、あるいは4名のうちこの日は何名とか開催日により異なるものの、様々な社員の目線でサポートをさせていただく。 |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | 調整中 | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 静大共通 | ・ゴールイメージ、中間ゴールイメージの共有<br>・チームビルディング<br>・決済の現状を講義 | クレジットカードの現状を理解する | クレジットカードに関すること情報を調べる（新聞・書籍など） | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 静大共通 | ・調査をどうつくるか？<br>・グループワーク | 地域と決済の課題整理<br>調査紙の要素を洗い出す | 調査紙のたたきを作成 | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 静大共通 | ・調査紙の最終フィックス<br>・調査方法の決定 | 暫定版を調査紙・調査方法が確立 | パイロット調査してみる（学外にて） | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 静大共通 | ・パイロット調査をやった印象の共有<br>・最終的な調査紙・調査方法の確立 | 最終的な調査紙・調査法を確立 | 本格調査の実施 | |
| 7 | 11/20<br>(月) | 静大共通 | ・中間報告会へのまとめ | 調査分析と中間報告準備が完了する | 発表準備 | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | 中間発表の振り返りとまとめ | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 静大共通 | ・課題の抽出と提案対象の仮説決め | 課題形成や仮説の立て方を学ぶ | 提案プランを各自考えてくる | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 静大共通 | ・提案プランの検討<br>（ブレストなど） | 社会人からのフィードバックを受け、改善する要点がわかる | 提案プランの優先順位をつけてくる | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 静大共通 | ・提案内容の決定 | 社会人からのフィードバックを受け、改善する要点がわかる | 具体的なプランのアイデア出し | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 静大共通 | ・提案の施策の検討<br>・最終的な提案をまとめる | パイロット版提案が完成 | パイロット版提案をもとに実際に提案（学外含む） | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 静大共通<br>（静岡中心市街） | ・最終的な提案プラン確立 | 最終的な提案完成<br>自分たちの考えたアイデアが形になる達成感 | 最終提案を実施（学外含む） | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 静大共通 | ・予備日・報告会準備 | 報告会の準備完了 | 発表準備 | |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を<br>実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 株式会社アルバイトタイムス |
| テーマ名 | 静岡でゆるかっこよく働いて暮らすことの魅力が伝わる<br>求人広告をつくろう |

| | |
|---|---|
| 授業目標 | ※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？<br>作成した求人広告を対象顧客にプレゼンし、フィードバックをいただいたうえで、転職サイトJOBに2パターンの広告を掲載し、ＰＶ数や応募状況などで、成果を図る。 |
| 学生へ<br>期待する変化 | ※15回を終えるときにどう変化してもらいたいか？<br>・自分の頭で考え、自分の言葉で自分の意見を伝えられるようになる<br>・限られた期間で、チームで結論を出すためには、何が必要かを知る<br>・静岡県の雇用に関して理解を深めてもらう |
| 授業概要 | ※どんな授業内容か？<br>当社社員と学生2名でひとつのチームをつくり、実際に企業を取材してテーマに沿った求人広告を作成、掲載するまでのプロセスを体験してもらう<br><br>作成に至るまでの間で、ターゲットの座談会を設けることで、データや資料だけに寄らないターゲット理解を深める機会を提供したり、訴求コンセプトの異なる求人広告を2案作成し、ABテスト的に掲載し、結果検証するなど、効果測定までを体験できる場の提供としたい。<br><br>＊社員は、あくまで、学生のサポートに徹する立ち位置とする。 |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | | テーマ理解<br>ゴールの合意形成<br>中間目標の合意形成 | 市場理解<br>求職者志向理解 | 求職者の特性を3つまとめる | |
| 4 | 10/30<br>(月) | | 求人広告のつくり方について | 求人広告の作成プロセスを理解する | 理解したプロセスを自分なりにまとめる | |
| 5 | 11/6<br>(月) | AT会議室<br>想定 | ターゲットとコンセプトづくり | ターゲット座談会を通してターゲット理解を深める | 座談会で得たポイントを3つまとめる | |
| 6 | 11/13<br>(月) | | ターゲットとコンセプトづくり・中間発表資料づくり | 求人広告２案のコンセプトをかためる | 発表準備 | |
| 7 | 11/20<br>(月) | | 中間発表資料づくり | 中間発表に向けて、発表資料・役回りを整える | 発表準備 | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | | 中間ふりかえり・取材準備（11日までに取材完了） | 中間発表でのフィードバックを元に案をブラッシュアップし、取材の準備をする | 取材内容を設計する | |
| 10 | 12/11<br>(月) | | 取材内容整理<br>原稿振り出し作成<br>企業プレゼン準備 | 取材内容を整理し原稿の振り出しを行う | 企業プレゼンのシナリオづくり | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 個別企業へのプレゼンに振り替え | UP原稿をもとに企業プレゼン完了（21日号に掲載） | 企業へのプレゼンが完了し、21日号のJOBから掲載を開始する | プレゼンの反省点整理 | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 企業へのヒアリングに振り替え | 反響結果を検証<br>企業からのフィードバックを得る | 企業評価を得る | 企業評価をまとめる | |
| 13 | 1/15<br>(月) | | 反響結果を検証<br>PVや応募数などのデータを検証する | 広告の数値的側面での検証を行う | 最終報告準備 | |
| 14 | 1/22<br>(月) | | 最終報告会準備 | 最終報告会に向けて、発表資料・役回りを整える | － | |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 株式会社アイワ不動産（PlayLifeプロジェクト） |
| テーマ名 | シェアハウスを活用して若者の交流・定住人口を高めよう |

| | |
|---|---|
| 授業目標 | ※15回を終えるときにどんなアウトプットを目指すか？<br><br>シェアハウスや賃貸不動産に対する若年層の意識、考え方、ニーズを吸収し、社内サービスやシェアハウス運営の参考として取り入れると共に、学生に弊社で運営するシェアハウスに興味を持ってもらう。 |
| 学生へ<br>期待する変化 | ※15回を終えるときにどう変化してもらいたいか？<br><br>・シェアハウスについて理解を深めてもらうこと<br>・地域との関わり方を知ってもらうこと |
| 授業概要 | ※どんな授業内容か？<br><br>弊社プロジェクトチームと学生とでシェアハウスを育てていく為に、どの様な課題があるかを一緒に検討していく。<br>又、シェアハウスを利用して行うことのできる地域貢献は何かを考え、実際に地域の方へプレゼンを行う。 |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 調整中 | | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | シェアハウス概要説明 | シェアハウスの基礎知識を得る | シェアハウスを3件調査 | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 理想のシェアハウス像の検討 | 基礎知識を基に企画を練る | 草薙の特徴を調査 | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 市場調査・検討 | 地域の特色を理解する | 検討内容をまとめる | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 理想のシェアハウス像と市場に受け入れられるシェアハウスの擦り合わせ | 妥協点を探り結論を導く手法を理解する | 提案資料の作成（大枠のみ） | |
| 7 | 11/20<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 草薙ならではのシェアハウスの提案 | 提案手法を学び、提案方法を理解する | 報告準備 | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 草薙 | 建築中のシェアハウスを見学する | 実際に物件を確認する | 草薙の住民へ聞き取りを行う | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 物件を利用した地域交流企画を考える | 企画の立案 | プレゼンの大枠を考える | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 地域住民へのプレゼンを作成する | プレゼン手法の理解 | プレゼン準備 | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 草薙シェアハウス内 | 地域の方に参加してもらい、プレゼンする | 実際にプレゼンすることを体験する | プレゼンの良かった点、改善点を考える | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | プレゼン結果を検討する | 改善点を理解する | 報告会準備 | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 報告会準備 | 今までの内容をまとめる | 報告会準備 | |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する | | 大学進行授業 |

# 平成29年度地域連携プロジェクト型セミナー連携パートナー授業計画書

担当教職員： 須藤 ・ 宇賀田 ・ 天野

■基礎情報

| | |
|---|---|
| 企業・団体名 | 静岡大学　須藤研究室 |
| テーマ名 | 地域活性化に繋がる<br>シニア向けスマートフォン講習会を企画しよう！ |

| | |
|---|---|
| 授業目標 | 1. 地域における情報化社会，高齢社会の問題を理解し，それらの問題を踏まえて地域課題を見いだせるようになる。<br>2. 高齢者にとっての情報機器の使いやすさの問題を理解できるようになる。<br>3. 高齢者のスマートフォンの学習を支援する方法を考え，最終的にスマートフォン講習会を企画，実施する。 |
| 学生へ<br>期待する変化 | 1. 授業を通して，心理学の基本的な研究の方法論を学び，各自の研究分野に応用できるようになる。<br>2. 各自の研究で，地域，社会の問題をテーマにどのように組み込むのか考えられるようになる。<br>3. 多様な人たち（シニア，企業の方々）とのインタラクションを通じ，本当のコミュニケーション力とは何かを考えられるようになる |
| 授業概要 | 本授業では，最終的に大学生が開催可能な，「高齢者のスマートフォン講習会」を開発し，誰でも実施できるようにパッケージ化を行います。最終的に，授業に参加した学生が，静岡市街地で講習会を開催し，効果測定等を行います。その結果については，携帯電話事業者にフィードバックします。<br><br>本企画は，須藤研究室の共同研究の一環として実施します。<br><br>授業の流れは以下の通りです<br><br>1. 高齢社会についての基礎学習<br>2. シニア向けスマートフォンの問題・課題について学習<br>3. シニア向けスマートフォン講習会の企画<br>4. スニア向けスマートフォン講習会の実施<br><br>途中で，携帯電話事業者の関係者へのプレゼン等を実施する可能性があります |

■授業計画（時間はいずれも１２：４５～１４：１５）宿題の目安は1回2時間です

| 回数 | 日付 | 場所 | 内容 | 狙い・ゴール | 次回までの宿題 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 10/2<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | ガイダンス（授業の受け方、顔合わせ等） | 授業の目的と目標、受講方法を理解する | まちを見る着眼点を決める | 大学進行授業 |
| 2 | 10/16<br>(月) | 静岡<br>中心市街地 | キックオフセミナー（おまちの街歩き） | 静岡のおまちの状況を知る | ― | 大学進行授業 |
| 3 | 10/23<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 高齢社会に関する学習 | 基礎学習 | | |
| 4 | 10/30<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 高齢者にとっての使いやすさとは？ | 基礎学習 | | |
| 5 | 11/6<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | シニア向けスマホ講習会に関する学習＋企画立案 | 基礎学習 | | |
| 6 | 11/13<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | シニア向けスマホ講習会に関する学習＋企画立案 | 予備調査の実施を通して，シニアのスマホ利用の現状を知る | レジュメ作成 | フィールド調査 |
| 7 | 11/20<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 街頭調査計画の立案<br>＋中間報告の準備 | 企画案の言語化，プレゼン準備 | | |
| 8 | 11/27<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 中間報告会<br>（現状の進行確認、これから行うことなど） | 学生同士の学びの違いを知り合う | 中間発表振り返りまとめる | 大学進行授業 |
| 9 | 12/4<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 街頭調査のデータ分析 | 調査データを生理しシニアのスマホ支援の方法を考える | | |
| 10 | 12/11<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 講習会の計画 | 講習会の企画・実施 | レジュメ作成 | |
| 11 | 12/18<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 講習会の計画 | 講習会の企画・実施 | | |
| 12 | 1/9<br>(火) | 研究室<br>A棟5F | 講習会の計画 | 講習会の企画・実施 | | |
| 13 | 1/15<br>(月) | 研究室<br>A棟5F | 講習会の準備 | 講習会の企画・実施 | | |
| 14 | 1/22<br>(月) | 市街地 | 講習会の実施 | 講習会の企画・実施 | | 講習会実施 |
| 15 | 1/29<br>(月) | 静大共通<br>L204・305 | 最終報告会・振り返り会 | 学びを共有しあい、自分自身の成長を実感する | | 大学進行授業 |